



若菜


袴着や代々の讓り立烏帽子
 眼はのほろぬ定りぬ被りぬ

八雲の道さと思ふ路中哉
 文り中あらふ淀む水の音
 暁や湯を聲を傳へ頭ノ殿

非是

粗月

追加

庭訓

肉くわを敷く
 管を引く
 母

由水菴詩鴻

洛橋傳梓

